



## **GMO リサーチ株式会社**

2022 年 12 月期第 2 四半期決算説明会

2022 年 8 月 4 日

## イベント概要

---

[企業名]	GMO リサーチ株式会社		
[企業 ID]	3695		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2022 年 12 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2022 年度 第 2 四半期		
[日程]	2022 年 8 月 4 日		
[ページ数]	12		
[時間]	17:30 – 17:37 (合計：7 分、登壇：7 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	代表取締役社長	細川 慎一 (以下、細川)	
	取締役 CFO	森 勇憲 (以下、森)	

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 登壇

**司会**：ただいまより、GMO リサーチ株式会社、2022 年 12 月期第 2 四半期決算説明会を始めます。本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。今回は新型コロナウイルスの感染拡大に備え、決算説明会の開催に際して皆様の感染リスクを低下させるため、会場での開催ではなく、ウェブ上でのライブ形式の決算説明会とさせていただきます。

本日のウェブ会議には、代表取締役社長細川慎一、取締役森勇憲の 2 名が出席しております。これより、代表取締役社長、細川慎一から、2022 年 12 月期第 2 四半期決算につきましてご説明させていただきます。その後、Zoom ウェビナーの挙手機能を利用して、皆様からのご質問をお受けさせていただきます。詳しい方法につきましては、質疑応答のお時間の際にあらためてご説明いたします。

それでは、代表取締役社長、細川よりご説明させていただきます。細川社長、お願いします。

**細川**：GMO リサーチ株式会社代表取締役社長、細川でございます。本日はお忙しい中、決算説明会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。これより 2022 年 12 月期第 2 四半期の決算説明を始めさせていただきます。まず、目次にありますとおり、この 3 点で進めさせていただきます。

## 結論と要約 | 決算サマリー

- 売上高及びすべての段階利益について**上半期最高業績**を達成
- 売上高は前年同期比+36%。アウトソーシング/D.I.Y.サービス、国内/海外の**全カテゴリにおいて上半期最高売上**を達成。

(単位：百万円)	2021 (1-6月)	2022 (1-6月)	増減額	増減率	
売上高	1,865	<b>2,551</b>	+686	+36.8%	2Q累計/単独 過去最高
営業利益	152	<b>263</b>	+110	+71.9%	2Q累計 過去最高
経常利益	173	<b>326</b>	+152	+87.8%	2Q累計/単独 過去最高
最終利益	128	<b>246</b>	+118	+92.1%	2Q累計/単独 過去最高

GMO RESEARCH

4

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**  
Asia's Meetings, Globally

まず初めに、結論と要約になります。2022年第2四半期累計期間の各段階利益におきましては、売上においては対前年同期比36%増の25億5,100万円、営業利益は71%増の2億6,300万円、最終利益は92%増の2億4,600万円となりました。全ての各段階利益において順調な成長トレンドを維持できておりまして、特に、累計と単独で、売上、経常利益、最終利益が過去最高を更新できております。

## 結論と要約 | 営業利益推移

- 調査案件の増加により粗利は前年同期比+291百万円 (+32%)
- 販管費は前年同期比+181百万円、営業利益は前年同期比+110百万円



GMO RESEARCH

5

次の営業利益推移になります。増減をグラフ化するとこのようになるのですが、まず売上高は、調査案件の増加によって6億8,600万円と増加して、それに伴って原価が3億9,400万円増えております。結果として、それに合わせて販管費については人件費、広告宣伝費、販促費等を増やしておりますが、1億8,100万円の増加となりました。その結果、営業利益は対前年度比で1億1,100万円増となっております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 結論と要約 | 通期業績予想に対する進捗

■ 通期業績予想に対し、売上高および各段階利益ともに順調に進捗



GMO RESEARCH

6

次に、業績予想に対する進捗になります。こちらは進捗率、売上 55%、営業利益 64%、最終利益 85%とこちらも順調に推移をしております。なお、下半期の為替の変動もまだまだ要素としては想定が困難な部分もありますのと、各種まだ変更を必要とされる範囲のレベルにはいってないと想定をしております、現段階では修正は行いません。

## 決算概要 | 連結損益計算書

(単位：百万円)	2021年 1-6月	2022年 1-6月	前期比
売上高	1,865	2,551	136.8%
売上原価	950	1,345	141.5%
売上総利益	914	1,205	131.9%
(売上総利益率)	49.0%	47.3%	▲1.8pt
販売費及び一般管理費	761	942	123.8%
(販管費率)	40.8%	36.9%	▲3.9pt
営業利益	152	263	171.9%
(営業利益率)	8.2%	10.3%	+2.1pt
経常利益	173	326	187.8%
当期純利益	128	246	192.1%

GMO RESEARCH

8

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

**SCRIPTS**  
 Asia's Meetings, Globally

決算概要になります。連結損益計算書はこちらにあるとおりで、先ほどご説明させていただきましたので割愛させていただきます。

## 決算概要 | 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2021年12月末	2022年6月末	前期末比
流動資産	2,358	2,464	104.5%
現金及び現金同等物	1,264	1,435	113.5%
固定資産	441	497	112.6%
資産合計	2,799	2,961	105.8%
流動負債	1,107	1,137	102.7%
固定負債	15	17	113.3%
負債合計	1,123	1,155	102.9%
純資産	1,676	1,806	107.7%
(純資産比率)	59.9%	61.0%	+1.1Pt

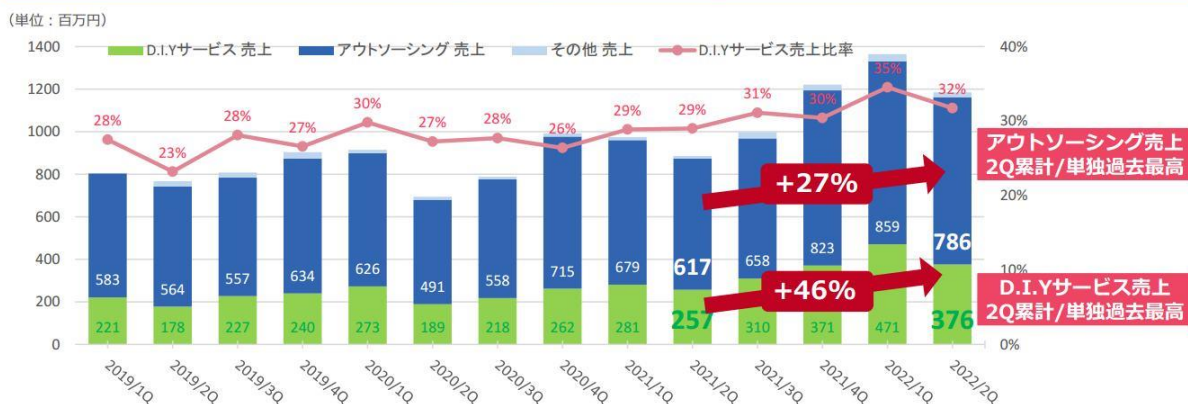
GMO RESEARCH

9

連結の貸借対照表はこちらにあるとおりですが、大きな変動はなく安全性の高い財務状況を維持できていると考えております。

## 事業の概況 | サービス別売上高推移

- アウトソーシング対前2Q+27%(+168百万円)、2Q単独期間過去最高売上
- D.I.Yサービス対前2Q+46%(+118百万円)、2Q単独期間過去最高売上
- D.I.Yサービスの売上高構成比は32%に（前2Q比+2.7%増）



GMO RESEARCH

11

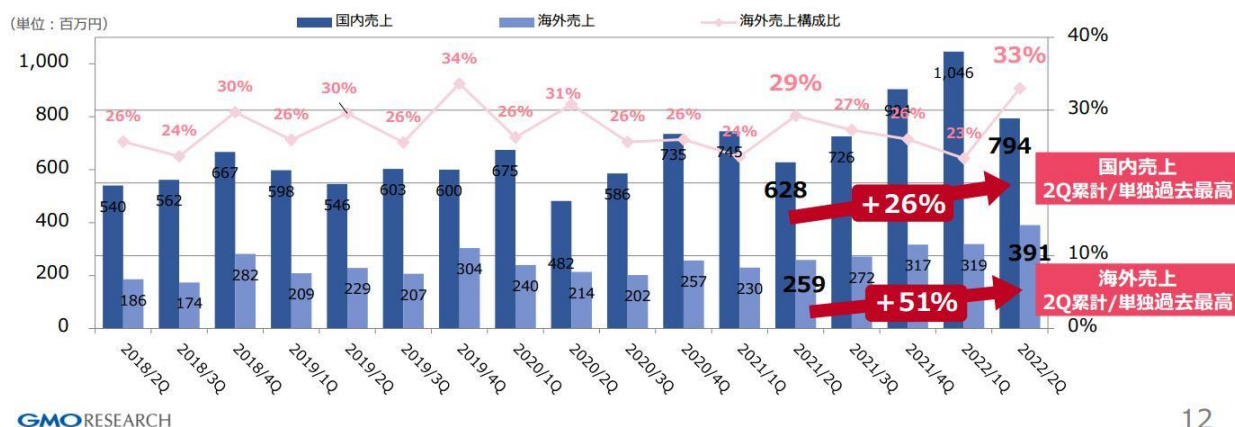
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

次に、事業の概況になります。サービス別売上高推移になります。まず、アウトソーシング売上は前年度同じクォーターでプラス27%となっておりまして、当社においてはストック性の高い売上であるD.I.Yサービスの売上が46%増と、非常に強い成長を維持できております。両サービスとも第2四半期累計期間および単独期間としては過去最高を記録できております。全売上に対するD.I.Yサービスの比率は、32%と増加をしております。

## 事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 前2Q比で、国内売上+26%(+165百万円)、海外売上+51%(+131百万円)
- 国内売上・海外売上ともに2Q単独期間過去最高売上
- 海外売上高は為替円安影響により10%程度上振れ



12

次に、国内・海外売上高推移になります。こちらも国内海外ともに非常に強い成長ができております。国内においては26%増、海外においては51%増という状況でございます。こちらも第2四半期累計および単独期間として、過去最高の記録ができております。また、海外売上比率においては33%という状況になっております。あと円安の影響で、海外売上高は10%程度の上振れの影響があったと想定しております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

# 事業の概況 | Audience Engagement Platform



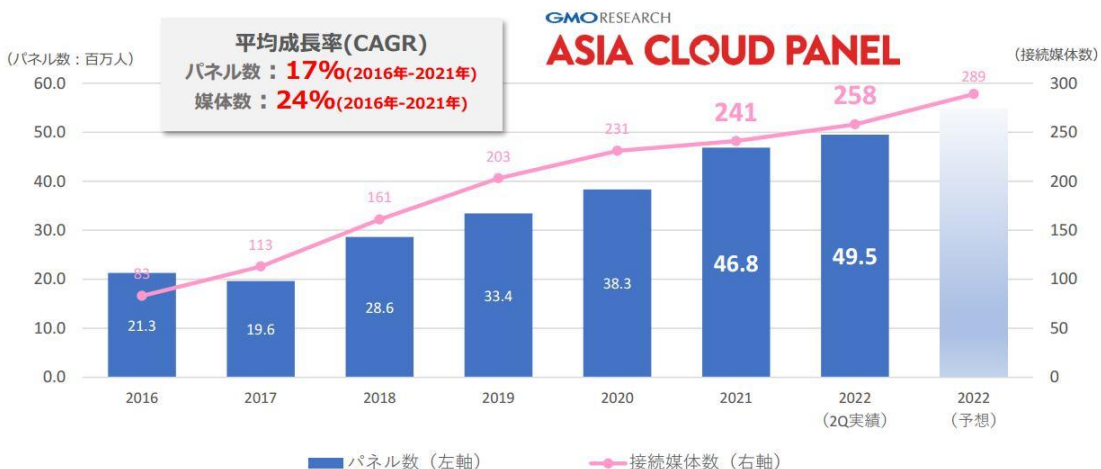
GMO RESEARCH

13

それでは次のページ、Audience Engagement Platform になります。こちらの重要な KPI が三つございまして、こちらの KPI を見ることによって当社のプラットフォームが健全に成長しているかどうかが見えると思っております。

## 事業の概況 | ① パネルサイド API 接続数

- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルは、アジア16の国と地域で4,949万人超となり、API接続媒体数は258へ増加しています。



GMO RESEARCH

14

まずは、①のパネルサイド API 接続数になります。こちらに関しては、競争力の源泉になるパネルの数字が伸びているかが見えるわけですが、この数値が伸びていくことで当社の商品が強くなっ

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





て、将来の売上に繋がるものであります。2021 年度末の 241 件から 17 件増加して、順調に成長しております。アジアクラウドパネルの数についても 4,949 万人まで増加してきております。

## 事業の概況 | ②顧客サイドAPI接続数

- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(\*1)及びD.I.Yサービス売上高は順調に増加しております。

(\*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客



GMO RESEARCH

15

次の、顧客サイド API の接続数になります。こちらに関しては、基本的に想定を 2022 年の予想数字に近いぐらいまで半期で到達しておりまして、順調に成長しているのが見てとれるかと思っております。あと、ライトなりサーチプラットフォームである MO Lite の利用顧客数も順調に増加しております。

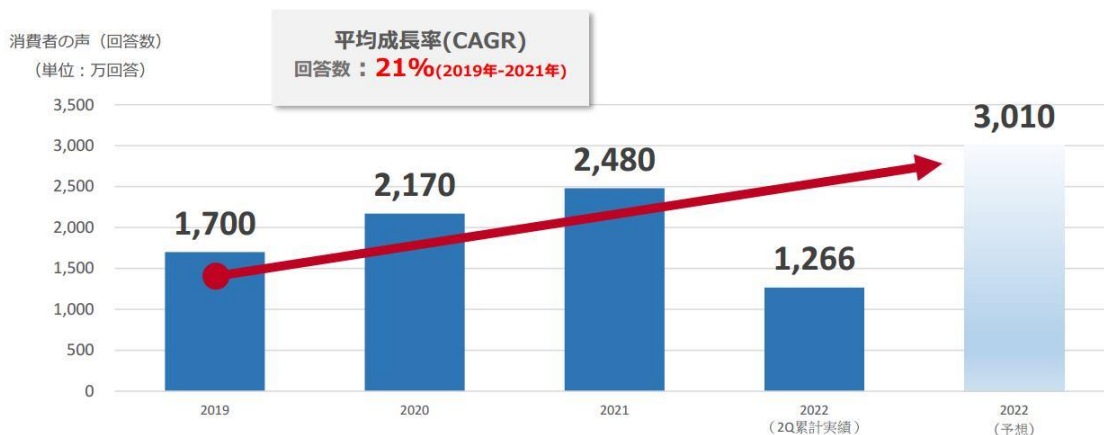
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 事業の概況 | ③消費者の声（回答数）

- 世界の企業へ届けた消費者の声（回答数）は順調に増加しております。



GMO RESEARCH

16

最後、三つ目の消費者の声になります。こちらに関しては先ほどありました商品が強くなってお客様が増えてきて、最終的に調査にお答えいただける方の数がどうなってるかなんですが、こちらも順調に結果指標として出てきておるのが、この数字を見ればわかるのではないかと考えております。

年度に向けて、下半期、引き続き順調なペースを続けていきたいと思っておりますので、皆様のご支援、よろしくお願いいたします。「想い、を世界に GMO リサーチ」、以上が私のプレゼンテーションになります。ありがとうございました。

[了]

### 脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

